

### 質 問 答

## 健全な青少年を育む 環境づくりを



柏木 幸平 議員

### 「ゆとり」と「学力」

**柏木幸平議員** 教育関係者から新学習指導要領の見直しの声や保護者からの不安の声も聞くが、町内のゆとりの教育と学力の成果について、また、町内の教職員の指導力はどうか。

指導力については、個人差はあるが、教育活動に支障のある教職員は、現在、いないと認識する。

**柏木議員** 児童・生徒の体力低下や運動能力、また、不登校への自立支援など、対応はどうか。

**教育長** 体力は、「生きる力」の重要な要素である。体力の重要性や運動の楽しさ、汗をかく体育の授業など、学校教育全体で、体力向上に取り組むよう指導する。また、不登校問題は、町教育委員会の教育課題のひとつでもある。学校・家庭・教育委員会が連携し、解決に向けて、積極的に取り組みたい。

### 学校選択制

#### 校区見直し

**柏木議員** 健全な児童・生徒を育む学校や地域の環境づくりの取り組みはどうか。また、合併問題もあるが、学校選択制や校区の見直しの考えはないものか。

**教育長** 環境づくりについては、道徳教育の充実、



ゆとりの中で充実した教育を（山崎小学校）

れることから、導入は考えていない。校区については、現在の状態を維持していき、今後、地域住民の意向を十分に踏まえたうえで、慎重に対応していきたい。

### 町民参画の教育会議を

**柏木議員** 青少年の健全育成を、町民全体で啓発活動ができないものか。また、教育の振興計画や教育問題で、教育関係者以外も参画させて、継続した会議はできないものか。

**教育長** 年一回開催される「青少年育成町民会議」の内容検討などの必要もある。厳しい問題を抱えている学校では、いろいろな方々にメンバーに入ってもらって、支援会議を年数回実施している。教育委員会として、今後にも全面的に協力していきたい。

特に命の尊さを考えることや、規範意識の高揚を図ることを重視して取り組んでいきたい。また、わかりやすい授業の実施や心の居場所づくりを進めたり、進路指導の充実を図りたい。学校選択制は、校区を中心とした地域活動への影響も懸念さ